

## 応募意見一覧

所属 分類	受 付 No.	枝 番 号	分野				テーマ(問題点等)				メッセージの 対象流域		メッセージ	提言者名	提言者の 居住地・所在地
			全 体 的 な 項 目	治 水 / 防 災	利 用	環 境	そ の 他	問 題 点	理 想 / 要 望	実 現 の 方 法	そ の 他	水 系			
自治体	036			○				○				淀川	①木津川の環境整備を考慮した護岸整備が必要	南山城村土木経済課 第1課	京都府相楽郡
自治体	044							○				淀川	①淀川本川からの適切な導水を行うことにより、古川の水質浄化を。	門真市	大阪府門真市
自治体	057			○	○	○					○	淀川	①名古屋豪雨に対応できる河川改修を。 ②スーパー堤防等、堤防強化を。 ③国営公園事業の推進を。	井手町	京都府綴喜郡
自治体	062				○	○					○	淀川	①農業用水の水質を向上せよ。 ②寝屋川への供給水量を増やせ。	東大阪市	大阪府東大阪市
自治体	063				○	○					○	淀川	①寝屋川の水質と水量を確保せよ。	大東市	大阪府大東市
自治体	071				○						○		①レクリエーションや教育の増進に寄与させたい。	大山田村土木課	三重県阿山郡
自治体	074				○						○	淀川	①子ども達が水辺に近づくような親しめる河川公園を整備して。	加茂町	京都府相楽郡
自治体	093		○								○	淀川	①景観への配慮。 ②漏水キケン箇所の早期整備。 ③魚の溯上、カワセミの営巣確保。 ④親水空間整備。 ⑤河川水質の浄化。 ⑥堤外地への進入搬路確保(震災対策)。	宇治市	京都府宇治市
自治体	095			○							○	淀川	①活水のため上野遊水地事業と川上ダムの早期完成を。	上野市	三重県上野市
自治体	096				○			○	○			琵琶湖	①湧水池が全て枯渇した。 ②野洲の水を沿岸地域の生活循環用水として導水出来るように整備を。	守山市	滋賀県守山市
自治体	105	-01						○			○	淀川	①「流域はひとつ」という一体感が必要	三重県伊賀県民局企 画調整部	三重県上野市
自治体	129										○	琵琶湖	自然と共に生きる自然循環型社会を築く必要がある。具体的に ①保全対策②公害防止対策③住民活動支援④総合的な環境施策の推進 が必要である。	中主町	滋賀県野洲郡
自治体	140		○								○	淀川	①公園緑地がなく荒廃している。 ②以下の要望(木津川) ・堤防の強化 ・内水排除施設の整備 ・国道24号と木津川の分離 ・国営山城木津川親水公園の整備	山城町	京都府相楽郡
自治体	143		○					○	○	○		淀川	①良い川づくりのための住民と行政の連携が大切。 ②住民が川と親しめる空間の整備が必要である。	木津町	京都府木津町
自治体	145			○							○	琵琶湖	①未整備区域の高水位護岸の早期整備。 ②堤外地の雑木繁殖による河川断面の浸食への対策。 ③不法投棄等堤外民地の行政による管理・整備を要望する。	びわ町	滋賀県東浅井郡
自治体	147		○								○	淀川	①安全でより身近で魅力的な環境を。	枚方市	大阪府枚方市
自治体	152				○	○					○	琵琶湖	①治水では安全な川となった反面、環境面が悪化、生態系を育む川づくりが必要。 ②河川愛護の啓発等を含めた管理面の検討。 ③住民意見の聴取。	野洲町	滋賀県野洲郡
自治体	154		○								○	淀川	①ダムによる治水よりも、洪水時の負荷の調節(洪水調整池等)の実施。 ②汚水処理方法の改善。 ③他の委員会との整合のとれた河川整備計画を。 ④水辺公園や散策路の整備。 ⑤水防訓練用堤防の設置。	久御山町	京都府久世郡

## 応募意見一覧

所属 分類	受付 No.	枝番 号	分野				テーマ(問題点等)				メッセージの 対象流域		メッセージ	提言者名	提言者の 居住地・所在地
			全体的な 項目	治水/ 防災	利用	環境 その他	問題 点	理想 / 要望	実現 方法	その他	水系	全般			
自治 体	174		○			○	○				淀川	①里山を昔の里山に戻すこと ②国土交通省、農林水産省、厚生労働省、三者の枠を越えた一本化した事業の取り組み ③コンクリートではなく、間伐材利用のウッドブロックの有効活用が出来ないものか	大宇陀町	奈良県宇陀郡	
自治 体	180			○			○				○	①スーパー堤防事業が進捗しますよう制度改革にご尽力をお願い致します	島本町	大阪府三島郡	
自治 体	182				○		○				淀川	①グランドゴルフ場を中心とする未整備施設の早期着手に向けてご尽力をお願いします ②スーパー堤防上である神崎川緑地公園付近に、PFI方式でレストランと便所を作ってはどうでしょうか	摂津市	大阪府摂津市	
自治 体	183				○	○		○			淀川	①自然環境と歴史環境の保全・整備を図っていただきたい ②淀川水質の改善、摂取量の確保、本市取水施設との整合性及び事前工事調整をお願いしたい	守口市	大阪府守口市	
自治 体	202					○					琵琶湖	①草津川、葉山川、金勝川の平地化をぜひ進めて欲しい ②自然環境、森林保全、農林業振興も大事	栗東市土木課	滋賀県栗東市	
自治 体	211		○				○				淀川	①ヨシ原の保全を ②舟運の復活を ③緊急避難路の確保を ④ノーマライゼーション公園整備を ⑤堤防の強度UPを	寝屋川市	大阪府寝屋川市	
自治 体	223		○				○				淀川	①河川公園の一体的な整備 ②自然環境の歴史的風土の保全 ③水運機能保持、防災ステーション整備 ④スーパー堤防の延伸	大山崎町	京都府乙訓郡	
自治 体	224				○		○				淀川	①「何故か楽しい」が、これからの川作りのキーワードではないかと考える	城陽市土木課	京都府城陽市	

応募意見(238件)

個人	001	京都府八幡市 西尾 誠
----	-----	-------------

川はいまや眺めて、楽しんだりホッと気持ちをなごませるだけのものになってしまった。かつては、これらの川は暮らしの一部であったのに…。夏は家族ででかける身近な水泳場であり、春は川辺を歩き、ときには魚つりに時を忘れさせてくれた。

一にも二にも水が汚れてしまったことが、元凶でしょう。

とにかく魚が棲める、水泳のできる、きれいな水をとりもどしましょう。すべては、そこから始まるのではないのでしょうか。

個人	002	奈良県生駒市 尾家 杏奈
----	-----	--------------

淀川で何が一番問題かってきかれてもよくわからないけど 14 歳の私に見えるのは「人の手はいってしまった川」です。そして理想－「自然の川」っていうのは難しいけどまず「キレイな川」。そのためには？ 簡単にいうとこれは日本だけの問題じゃなくて世界でとりくむことがベストだと思う。だって川は海とつながっていて海は世界とつながってるから、一箇所だけがキレイになるって難しい。私は淀川だけじゃなくて地球がもっともっとキレイになることに協力したい。そしたら淀川も理想－「自然の川」にちかづけるとおもう。

個人	003	大阪府枚方市 脇田 東作
----	-----	--------------

問題点:淀川水系で、今、何が一番問題か？

近畿の水がめと云われるように、水系に生活する人々の生活用水であり、この汚染は、どんなことがあっても阻止しなければならない。

今、水系だけが自然として残せる環境といえる。特に下流域で生活している人々(行政も含め)余りにも関心が薄い。

理想・要望:どのような川が望ましいか？

一番重要なことは、水系に生息する生き物、植物、景観を守ることである。もしこれらが悪い方向に進んでいるとすれば、徹底して因果関係を見極め手を打つことである。

人々は親水性に目ざめ、いやしの場として水辺の遊びも含め、関心を示すことである。

実現方法:そのためにはどのようにすべきか？

水系の全ての人にアピールすべきである。

- ・ 教育の場でカリキュラムに含める。
- ・ 社会生活の場で広報誌等でアピールする。
- ・ 職場で、環境管理システムを構築する。

即行動に移すことが重要である。

個人	004	京都府長岡京市 山本 三枝子
----	-----	----------------

「川と橋」

「ゆく川の流れば絶えずして、しかももとの水にあらず」この言葉が好きで、辛く、悲しい時、桂川の橋の上から、水の流  
れに吸い込まれるような思いで、時間を過ごし、一生懸命流れてる水に、顔が写ってるような気がして、いつまでも、見  
守ってくれてる、「もう一度頑張ろう」と我が家に向かったことがあります。

水は清く美しく、心を洗ってくれる。きっと、留まることなく、休まず流れ続けるからだと思う。

何度、私の人生を励まし、人を恨んではいけないと、教え、救ってくれたかもしれない。

だから、川が好きだし、橋が好き。

特に、斬新だったり、お洒落だったり、変わった橋があると、川が喜んでるだろうと振り返って見る...

「川が着物で橋が帯」とすれば、美しい着物には、お洒落な帯が似合う。

川と橋の相乗効果は、着物と帯の相乗効果にふさわしく、日本の文化として「川と橋」が競って美しくなることは、多くの  
方の喜びとして、輝くことでしょう。

自然と文化の程よい、調和が私たちの心を癒してくれる、「川と橋」。

川よありがとう。

## 淀川水系流域委員会様

私は50過ぎてなお ウインドサーフィンなどで人生を楽しんで居ります  
人畜無害で健康的です  
海 琵琶湖等もよく行来ますが 鴨川 鴨川時等はよく伊3号線依法大橋の  
下でもよく遊んで居ります スーパースポーツが心地いいです  
でも水の件で一つ要望がございます  
特に夏場ですが 河が一面 赤茶色になります  
素人判断でこれが赤潮か 毎年それがございました  
それは間違いではと思う様になりました  
同じサーファー仲間が あれは近所の排水が時々サビた様な  
まっ赤な水を流している と聞き知りました それも数人から聞きました  
議員様 環境庁様 国政調査権と調査は出来ないでしょうか？  
この河に 漁業共同組み合いが設置されます  
漁で生計を立てている人が多数います 聞きます  
官 民 力を合わせて この河を綺麗に綺麗にしたい  
そう願って居ります

※連絡先不明のため、ご応募いただいた FAX をそのまま掲載させていただいております。



## 淀川水系流域環境対策委員会様

皆さんは鮫物オイルが一敵水の上に乗るとどうなるかご存じですか？

・瞬輪が広がりキラキラと虹色に輝く

見た目はきれいですが これでは植物や動物は死に絶えます

これを水中に垂れ流している者を規制しない環境庁に怒りを

感じています

50ccの原動機付自転車は 2サイクルエンジンの為全車のマフラーから

未燃焼オイルがポトポトと垂れて来ます 1台あたりわずか50ccです

ジェットスキー 水上バイクは1台あたり1000ccあり100倍1000ccあります

エンジンの音を出さない様にマフラーを改造して公道に出ています

ここから未燃焼ガス オイル等が流出して汚染されています

上水道である琵琶湖 淀川に於いて

ド素人でも人体に害を及ぼす事は想像できます 毒はありません

環境のブロ集団が野放しにしているから 汚染がひどいから感じています

例年 環境庁長官がパフォーマンスとして 淀川の視察にいらっしゃいます

記者団を前に 〈あなたがたは 淀川の水を飲んで居るのですか？〉

そう おっしゃいます

こんな水にしたのは 規制もしないから 汚染がたじやないですか？

淀川には上水道の取水口が数多く有ります

水上バイクの規制を 一口千秋の思いで 早く実施して居ります

※連絡先不明のため、ご応募いただいた FAX をそのまま掲載させていただいております。

個人	006	大阪府大阪市 河村 敏文
----	-----	--------------

本来、人間の住んでいない場所では自然災害的要素を除けば水質悪化という問題もないのではと思います。人間が豊かな生活を求めれば求めるほど水質に対する負荷が大きくなるのではとおもいます。

近年琵琶湖において各種の実験が行われていますが湖北水域ではかなりの改善がみられますが最近気になることがBOD, CODの数値もですがT/N T/Pが上昇しているようにおもいます。

人間の生活排水では無りん洗剤の使用等が進められていますし、排水の浄化も下水施設の普及ならびに浄化槽の設置等がすすみ以前に比較して

もっと改善されてもよさそうに思いますが結果としてはあまり成果に繋がっておりません。

考えられる改善方法としては

①琵琶湖周辺は農地も多く穀物、野菜等栽培の必須なものとしてチツソ、リン、カリが上げられますが実際穀物、野菜が全て吸収しているとも思えません。大雨等により流出しているものもかなりあるのではない でしょうか。まだ全国的にもこの分野での詳しいデータも殆どなく断 定は出来ませんが人間が創り出した化学肥料を控え水域の山中にある落ち葉を堆肥化する等分解には時間がかかりますが効果が持続するのではないのでしょうか。

②現在全国の山林の荒廃がすすんでおります。水源確保の観点から淀川水域の森林保護を進めてはと思います。地球上の99.7%は海水で人間含めた動植物は最大残りの0.3%しかないのです。

日本に限って言えば1800ミリの降雨量の約3分の一しか使えていないのが現状です。森林保護といえば重労働ですが幼児期より森林に親しむ、自然を大切にするという思いやりのある教育が学校の荒廃、水質の悪化等日本の抱えている諸問題の解決にも繋がるのではないのでしょうか。

又淀川に関して言えば大雨の際多量の生活容器等が流されたり、投棄されたりしており水質以前に美観の改善が必要とおもいます。

淀川水系流域委員会の皆様を中心として流域全体のボランティア組織をつくり活発な活動を行っていけばとおもいます。

個人	007	大阪府河内長野市 芝谷 日出男
----	-----	-----------------

川の問題点は雨量に尽きる。にも拘わらず、従来は何処も小手先の対策に終始し、関係者がメシにして来た。だから何も改善はなかった。

根本的には雨量であり、古来其れは雨乞いでした。其れを非科学的！と見下すなかれ。従来科学の手法では悉く失敗したのだ。雨乞いは歴史に裏打ちされた無数の実績がある。詳しく知りたいならご一報を。

個人	008	兵庫県神戸市 諏訪 格
----	-----	-------------

\*\*\*\*淀川を変える\*\*\*\*

問題点:淀川の広報不足—全国的視野又は世界視野での広報不足。

一、世界の類似河川を研究する。二、淀川の歴史的背景、書籍「淀川」参照。淀川の淀の由来(魚市の発祥や、巨椋池のマラリア病の発症が激増して埋め立てられた事を現代では知られていない。淀川は淀を起点とする思想の徹底、と、明治までの淀川の活躍は、歴史的にも著名で、水車の歴史(水車の祿高 1,000 石が付いていたほどの)等は面白い所。

理想;河川の堤散歩が評判になる事が肝要。昔、淀の千両松は淀の河川の評判であった。

方法;流域の開発や都市計画が一貫していない。河川流域のコンクリートが多すぎる。昔の自然化が望まれる。

特定箇所;については、淀の起点が寂しい。書籍「淀川」昭和 18 年 1 月発行 著書/北尾鎌之助/発行所:京阪電気鉄道(株)を参考にしてください。既に熟読かと思いますが…。

昔から改善が望まれ、著書が述べられて居る如く、段々汚れてゆく様は諸外国に比べてひどすぎると思う。少なくとも夏には“海水浴”ができる程度と、魚釣りが、等々、楽しめる様に望まれる。

今や四・五拾年の歴史にも、次第に寂れつつある淀・八幡宮の再建・再生は京都・南地区開発とともに大きな「テーマ」だと思えます。

-----因みに小生の先祖は淀域の松平・稲葉時代から勤めていた子孫で、戊辰戦争とともに消えた---者です。

大した意見は述べられませんが、淀城を起点とする考えは如何ですか？

淀の納所町の「妙教寺」には NHK にも取り上げられている歴史が…余談ですが…。

以上。

個人	009	京都府八幡市 須和 兼市
----	-----	--------------

## 理想と要望

私がいうまでもありませんが…

水と空気は生きとし生けるものの根源でしょう。

もう一言

水を制する者は世を治める。字句の少異はあっても言わんとすることは同根でしょうねー

残念なことですが、近代人は水を疎に考えかつ取り扱ってきた。私は三川合流(八幡市)に移住して 30 年になります。

「背割りの堤」は子育ての時期は子達の安全で楽しい場所でした。

30 年経って今は老人、隣人達の語らいと花見の場所です。水や川への感謝の心は人それぞれでしょうねー。

1. 理想は、水域の廻廊です。対岸への橋の少ない京阪間は南北の交流はあるが東西の親しみは薄い。遠く平城京の時代からでしょう。平安京へのとき一時長岡京のことがあります、この考えは千何年か前からの関西人の思いでしょうねー。
2. 実現方法は、単純です。できることから確実にやること。大河の中の中小流の上に人が渡れる橋を架けること。

30 年後、100 年後、そして 22 世紀、必ず実現しているでしょうねー。

皆さんは 100 年単位、1,000 年後にかかわる大仕事を成さっていらっしゃる。

頑張ってください。

個人	010	兵庫県川西市 西野 正照
----	-----	--------------

私は淀川区十三で生まれ育って五十五年になります。

五人家族で子供三人が飲み水を買うようになりました。

1リットルペットボトルが月四十本以上です。洗濯したシーツを乾かすと黒い斑点が付着するようなこともしばしば……。

淀川の水が特に夏は臭いがして鼻につきます。コーヒーにしてもだめです。

ある時、淀川でハゼ、ボラを釣りましたが、お腹は黒いヘドロの臭いがします。空気と水は明らかに黄信号であります。

「要望点」としては水に対しては、淀川水系の工場からは廃水を浄化制度を設けてプロジェクトチームにより検査実施しては如何でしょうか？又違反業者には罰則(罰金ではなく掃除をさせる)が必要です。

淀川の堤防(水路)でコンクリートをできるだけ避けるべきです。魚が住めません。なるべく葦を抜け、イタセンバラ、ゴカイ、水鳥がいる淀川にしてほしいと望みます。以前は置き石にドグロや川エビが泳ぎ水遊びした遠い昔を想います。

空気についても工場からの煤煙に問題があります。もっと煙をろ過して煤煙のない方法を講ずべきです。これも基準値をオーバーする企業がある様な気がしてなりません。

淀川は市民が憩う大切な場所です。土手の道には草花が生い、つくしや、よもぎの摘み草ができるように願いたいものです。

#### 「実施現方法」

水、空気、環境を市民に対して PR、公共事業の人々、工場関係者に認識を高める事です。(ビラ配布、町内会の話題、役所よりの説明等)

水・・・企業廃水の基準値の決め方と罰則規程の強化です。(きびしい取締りする方策を打出)

工場関係者 役所〇〇部 魚に影響の出るコンクリートを水路に極力使用しない。

環境パトロール班・・・役所、警察、水質関係者、川魚研究者(大学の先生)、市民

※権限を与える。制服着用(関心を高める)

市民にアピール・・・半年に一度(官報等)この様に効果をあげた成果。反面、違反会社も掲載。※公表する  
ゴミの回収(高齢者活用)・・・ボランティアー紙幣発行(ポイント制)し、あくまでこの精神で使用店を定める事。

表彰制度・・・警察署長、区表 表彰状と記念品・・・公表

①～⑦進言申し上げます。

個人	011	兵庫県神戸市 有坂 公子
----	-----	--------------

川よ川

春の小川はサラサラいくよ♪と母に手を引かれて歩いた猪名川の幼い日、春のうららの隅田川をコンクールで歌った小学6年生、中学生の地理・歴史で、チグリス、ユーフラテス川、黄河、アマゾン川、ナイル川と夢を膨らませてくれた四大文明の発祥地。大人になってヨーロッパのライン川やドナウ川など、訪れる今日このごろ。つくづく私は川が大好きなんだと思う。

中国、重慶から山峡を下って、いつごろから、この川のほとりに人が住んだのだろうか、巨大なダムが作られる現代も、水が一番大切なものだ。川を制するものが王さまだった昔と、今も変わらない流れ。ピアノでブルグミュラーの「清き流れ」を弾きながら不安いっばいの思春期をいやしていた。50年後懐かしい日々を恋しくも、静かな老年期に期待していますのは60%森林のわが国が世界に誇る清き流れを、末永く続けられますよう、心から祈らずにはおれません。故美空ひばりさんの「川の流れるように」が胸をうつのは、美声の他に川が私達の胸にしめる割合が大きいからではないでしょうか。まさに人が生きること、すなわち川に助けられいやされ、なぐさめ、はげましてくれたからでしょうか。

個人	012	京都府京都市 佐竹 孝夫
----	-----	--------------

ツバメのベース・キャンプを永遠に

宇治市に掛る、観月橋を渡る生活を続けている。

冬は、夜明け前に出勤する。夏は暑さでうだる京の町である。

夏は「川風の涼しさに」ホットする。冬は「身を切る冷たい風」に再び、決断と意欲を掻き立てる重要な場所である。

私達は何時も水と共に生きてきた。

お陰様で、私達は洪水の恐ろしさを知らない。だが・・・、宇治川を流れる水の量とその汚れには驚くばかりだ。

子供の頃、実家の軒に春にはツバメが巣を造った。暫くし子供が生まれ、巣立った。そして、再びツバメが巣を構え、子供を育てた。

「始めのツバメは何処に行ったのだろう・・・」と永く不思議だった。

この地に住み、毎日宇治川を眺め生活し、川の西側に数多くの鳥が飛び交うのに気付いた。

ヨシ原に住むツバメの集団である。初夏に産まれたツバメ達の多くがこのヨシ原で生活し南の国へ渡ると言う。

ヨシ原はギリギリの生え方である。水量の減少と汚れである。

年間の雨量が減った訳ではあるまいが、水量の減少は著しい。

観月橋の宇治川は直前の天ヶ瀬ダムで、水量をコントロールされているが水量の減少は夥しい。観測用のポールの大部分が、空を切り錆と苔で汚れている。

清流に育つ水草が淀みで茂る水草に、取り替わりつつある。

ヨシ原の水源が、日々刻々少なくな浅く、なりつつある。

ツバメは、私達の清らかな楽しい歳時記である

南に使うエネルギーと意欲を蓄積する大切な、ベース・キャンプを何時までも守りたいものである。

夏に琵琶湖でボランティアをしている。水遊びに、僅かな湖床を掃除する。湖水に入り、驚くのは岸の高さが毎年、高く断崖に感じる。それだけ水量が減り、岸が近くなっているのだ。

水草は長く生い茂る。魚の死骸も数多い。木切れ、花火の残骸、スナック菓子の包装紙、ポリ袋、紙、空き缶などのゴミの多様さ、量が膨大だ。大人二十人ほどで、二日掛け四トン・トラックに一杯積むほどだ。

夏の間、水上バイクのエンジン音が、私達の平和を脅かす。

私達の施設は、障害のある子供達が利用する。余りのエンジン音の無謀さに「怖いよ～」とパニックに陥る子がある。過負荷のエンジンからのオイル漏れで、水まで汚している。

動物は、本能的に自分の生命を繋ぐ資源に敬虔である。

水を敬い、火を恐れる。食べ物も最低限しか獲らない。

私達人間自身に、そんな敬虔心が無いのだろうか。自分自身が飲む大切な琵琶湖の水をこんなに汚していることにも気がつかない。

一遍の道徳論では解決しないであろう。

水上バイクの免許制の厳格化、水域保存のための禁止。

そして、『琵琶湖利用税』の導入を考える時であろう。

『安全と空気と水は無料』の水道方式の、バブル経済は終わった。

澄んだ、奇麗なお気に入りの水をボトルで買う、毎日である。

琵琶湖の水瓶が、私達の生命の根源であることを識るための、一つの手段として考えるべき時であろう。

私達の生命が、一滴の水から産まれ、成り立っていることを自覚する大切な一歩になることを願う時である。



個人	013	大阪府高槻市 一ノ本 肇
----	-----	--------------

## 【淀川水系の問題点と解決策(案)】

### 1. 始めに……。

一頃に比べれば相当綺麗になったとは言え、根元の《琵琶湖》を筆頭に《淀川》水系の各河川(『宇治川』『木津川』『桂川』)の水質は決してよくなったとは思えません…！本流からの上水道を取水している右岸(京都府と市の一部と北摂地区＝大阪府島本町・高槻市・茨木市・摂津市・等)や左岸(京都府の一部と北河内地区＝大阪府交野市・枚方市・寝屋川市・門真市・守口市・他)の衛星都市は、府営水道と共に上水の質を浄化させる大変な努力を要しております！

問題点を明確にする為に、論点を我が居住地の高槻市に絞らせて貰います。

### 2. 淀川に流入する河川の垂れ流しは…？

大きくは《芥川》と《檜尾川》ですが、その他にも小さな河川が幾つも浄化される事なく淀川に垂れ流されています。小生が住んでいる「上牧(かんまき・阪急電鉄京都線の高槻市駅より一つ京都河原町寄り)」周辺では、大阪府北東端になる島本町と京都府の山崎を経由する『水無瀬川』から始まって昔は淀川から汲み取った水を田畑に供給する水路だったものが今は下水路になっている「上牧新川」等の小河川を挟んだ排水機場(降雨時の浸水を防ぐポンプで強制排水する所)を経て何等浄水されずに本流に流入されています。淀川本流に流れ込む河川の河口部に、例え小さくとも浄化装置も設置される事もなく自然に任せた垂れ流しなのです。

### 3. 望ましい解決策は…！

(1)本流に流入する全ての河川(大小の区別なく)に、僅かでも浄化能力のある施設を設けさせる事を法的に義務づける。

(2)上水道のための取水口部分に、相当強力な浄化装置を設置させる法令を科す。

(3)上記の2法を全うさせるために、必要な調査・実施に基づく予算を下記の要項で準備させる。

※必要経費を5ヵ年計画として、国から交付金・府や市の5年間の予算・地元企業(特に排水を伴う生産業)及び市民の寄付金の三等分とする。

### 4. 終わりに…。

多少重複していますが、あえて強調しておきたいのは次の2点になります。

(a)「バブル最盛期」に一気に進んだ自然破壊は、元にやや戻すのに数年を要しました。今後の緩やかな汚染を加えると、淀川の本格的な浄化には恐らく何十年もの歳月を必要とするでしょう。焦る事は絶対に禁物です！

(b)2020年を最終目標とする様な長期計画を要します。少しずつ着実に浄化の目標を達成させて行きたいものです。弛まない事が肝要です！

個人	014	京都府長岡京市 安岡 義隆
----	-----	---------------

問題点

工場廃水をはじめとする汚濁でっしやる。

理想・要望

これ以上水質悪化を防ぐ

実現方法

今一度淀川の大切さを考える機会として、啓発に関する標語やポスター、作文、詩、俳句、短歌、川柳等を広く募集してみるのもおもしろい。

個人	015	京都府八幡市 藤本 富佐子
----	-----	---------------

私は川が大好きでメダカをすくったり鯰を獲ったりした思い出がなつかしいです。

もう30年たちましたが、今でも鮮明に浮かんできます。

今1番問題なのは、川にごみを捨てる人と工場の廃液です。

理想、要望として・・・めだかや蛍が育つ川

実現方法・・・ごみを捨てる人から罰金を取る。

徴収方法は難しいかもしれないが、見つけた人からの連絡を待ち自治体が対処する。

廃液に関しては、工場が廃液をダイレクトに流さない、浄水場のような所を作ってそこから流すようにする  
又、現在ある浄水場と提携する等いずれにしても、国や地方公共団体からの助成金が必要だと思いま  
す。

広報誌を通じて市民一人一人の意識改革を図る・・・河川を中心とした行事を増やす。水が澄んでいた  
頃の河川のパネルを展示する。

河川のそうじを定期的にする。＜市役所＞

掃除をした人には報酬を出す。

私の子供はまだ蛍をみたことがありません。

見るためには山奥まで行かないといけないとか・・・

早く近くで見る事ができるといいです。

個人	016	京都府宇治市 吉村 保彦
----	-----	--------------

#### 提案

住まいは宇治ですが仕事は大阪で運転手等をしています。幼い頃大阪の桜宮にもろこを釣りに行った記憶があり、10年程度前に京都に引越すまで拠点は大阪、今もしかりです。宇治川には毎週ヒマがあればぶらり行き水の流れ川の色を見、又電車でそこから淀川に通じている大阪に毎日の様に往復し改めて琵琶湖の水瓶の重要性をひしと感じます。人というのは水がなければ生きてはいけず、雨が降らないとたちまち困る事は承知の如くですが確かに下流である大阪の淀川は色がよどんでいると思います。いつかテレビで鳥飼大橋からバイクが多く引揚げられた様子を見たり、神崎川あたりの不法ゴミが数多く見受けられ、目に見えないおたくは調査されているとおもわれますが、かなりヘドロとか生物が存在しない始末の悪い現実と思います。伏見港公園が宇治川添いにありますが、入江でやご、メダカ、トンボの大群、小魚をよく見かけます。夏でしたが、自然が残っている 30 年以前なら普通の川に存在していたのが今では貴重と思います。率直に言って京都近辺の方がおたく度は低いということです。伏見の御香宮とか鳥よし横にあるわき水、神戸の灘の酒屋にあるわき水、そういう自然が残っている水をたやすことがない様に、まず、大阪の神崎の先大阪港あたりの川が流れにくい悪いじゅん環構造を根本的に変え、自然の生物が住める淀川に持ってゆくため、ヘドロとかゴミとか水質の調査と色が清い様になる事を望んでいます。

個人	017	兵庫県宝塚市 高崎 恒子
----	-----	--------------

おねがい

川を汚さんといて

一番好きな川

宇治川 中の島あたり

きれいな水が音をたてて流れてゆく

一緒に流れてゆけたら……。

個人	018	滋賀県彦根市 上野 やす子
----	-----	---------------

私は京都から滋賀県に嫁いで30年。子供達も成長してここ3~5年間彦根市の自然環境に携わり自然環境よりも琵琶湖の水質に興味があったのです。

ここ数年子供を水遊びさせる人が少なくなり、琵琶湖での遊びは、モーターボートや水上バイク、水上スキーなど水質を悪化させる遊びばかり 市や県などはレジャーが出来る琵琶湖を重視しているように思われます。

関西の飲料水の水カメを他国のように飲料水に出来ない水にさせることはできません。安全な水を供給することが私達県民の最大の問題で水の大切さを県民の末端に浸透出来ないものかと琵琶湖を見るたび考えさせられます。

この夏の話ですが大阪駅の近くで数人の若者が集まっていた時の会話断水の話でした水は水道から出る断水しなくても水道があればいいのにならなく話をしていた人が多く、一人だけその水道から水が出ないのよと言っていられて、大阪は断水ないや ほんならいいやと軽くながされ私はあきれて若者の顔を見ました。本当の意味で水の大切さを知らない人が多く水はジャロをひねると出るものと思われているのですね。もっともっと考えて知らせて下さい。

また、琵琶湖の水を美しい水に釣り人や漁業の方にゴミ問題マナーの教育末端まで浸透が出来る委員会にお願いいたします。

個人	019	滋賀県甲賀郡 片渕 ふさ子
----	-----	---------------

## 淀川を上流から考える

琵琶湖に注ぐ野洲川の上流に住む者としての想いを述べさせていただきます。10 年程前にプールの消毒に塩素を使いすぎると、皮膚炎と川の水にトリハロメタンという発癌物質を作ってしまうというチラシを見て以来、水に関してウンチクを持つようになりました。

上流からきれいを心がけねば下流の人はもちろん水系動物及びそれを食する動物にも種の減少と数の減を来たすと思い、環境を考えるエコライフ in 甲賀という団体を結成しました。そして、機会あらば声をあげチラシにと訴えている中、気付いた事は以下のようなことです。

現状を見ますと、排水を流す企業・農業者・家庭・山に産廃を埋める業者・農薬と PN 等の肥料に加え殺虫剤を撒くゴルフ場からの排水・車や焼却ガスからの大気汚染が雨となり汚れた水・粉塵が雨で流れ入り込む水、そして排水処理場からの水により、各水質検査の値に問題は無いと言われつつ結果的に、川は汚れ、水質の悪化を来たした結果、琵琶湖の魚の種類が減り、奇形が表れ、数が減り、という状況となっています。

淀川の水質にこだわるなら、琵琶湖の水質をそして上流の水質をと、迎っていかなければならないでしょう。自分だけはいだらうと汚した水を出すような事をみんなが控えるべき時期だと思います。とともに、公共事業の河川工事について言えば、アクの多いコンクリート面を少なくするとともに、リンや窒素を吸収する植物の生える川を作る事に尽きると思います。

そして、企業には総量規制を訴える。ゴルフ場と農業者には農薬と殺虫剤の使用を控える事と、肥料を含む水を川へ落とさない事を訴える。家庭には、塩と炭の洗濯方法を紹介する。交通手段は車より公共の物や自転車を使用する。自分が口にするのが嫌な物質は排水口に流し入れない努力が必要です。バスクリンや中性洗剤を口にしたくないなら、下流の人たちの為に使用を控える事を心がけ、訴えていくべきでしょう。

蛇口に浄水器をつける事を否定しませんが、それよりも、川の水を昔の頃の健康な魚の棲める状態に戻し、人に対してもおいしく、においがなく健康に良い飲料水を供給できるよう、きれいな河川水にしなければと思うところです。

その為に

- 1・淀川から上流へ向かい調査隊を編制して目で見る・水質を検査するなどをやってみたらいかがでしょうか？
- 2・一般の人々には、とりあえずは蛍の棲む川の再生を訴え、次にメダカの棲めるそして鮎の棲める川が人間にとっても必要だと、その為にはどうすればよいか考えてもらうようにアピールしてはどうか？
- 3・公共事業は、水質保全を考えて実現させる事業だと、変えたらいかがでしょうか？

個人	021	大阪府南河内郡 大木 岩根
----	-----	---------------

#### 淀川の整備案

淀川は大河であり、利用し難い。まして、上流の京都市城、京阪地域の下水道整備が進むまでの水質汚濁の間においては、大阪市民、淀川流域の人々にとっては、淀川は上水道源であるほかはかなり縁遠い存在であったと思われる。縁遠い、ということは関心が薄く、放置されたままで、川の荒廃を招くものとなる。川の恩恵を感じ、川を身近な自然として利用することにより、川を愛し、川を守る意識が向上すると思われる。

このための整備私案を以下申し述べる。

- 1．流域の河川敷全体について、葭原等天然自然のまま残す地域、人工的に整備すべき地域、等の全体計画をたてる。
- 2．淀川に住む生物の種類、数を増やすために本流に繋がる入江(わんど)を多数作る。わんど内の小魚、小動物に対しては子供が遊びの対象にし得る様な護岸設備を設ける。
- 3．出来る限り長距離の、足に良い未舗装の歩道、舗装済の自転車道の整備を行う。適宜、小公園などの休止施設を置く。
- 4．野球場、サッカー場等のグラウンドの多数設置。有料施設とし、使用管理、施設整備に意を尽くす。
- 5．植樹、並木を作ること。治水上の観点から好ましくないかも知れぬが、堤防の内外、然るべく補強を行えば植樹可能となるのではないか。花見、縁陰、紅葉を求める人々が集まる場所に出来ぬか。
- 6．各施設に伴う駐車場の整備、および駐車場外の川原への自動車の乗り入れ禁止を徹底すること。
- 7．堤防上の道路整備。通過車用ではなく川の施設に来る人のためのもの。
- 8．定例的に、流域の中小河川を含めて清掃キャンペーンを行う。
- 9．要は、川本体、堤防、河川敷と合わせて広大な自然公園を作り上げて、人々を引き寄せ、河川を愛する気持ちを醸成することが大切である。

以上



個人	022	兵庫県神戸市 香嶋 正忠
----	-----	--------------

淀川への思い。

私は小学校中学校時代を淀川の傍で暮らした。対岸には毛馬関門があり、パナマ運河を作った人が設計したと聞いた。両側に水車のような水かきをつけた大きな舟が上流へ上がるのを見た。長柄橋の所までイナが上がってきて、ある時など川の色が変わるほど押し寄せてきて夢中になってとった記憶がある。

鮎もよく釣れて料理屋の人が買い回っていた。大水のあとあちこちに水溜りができ、そこに逃げ遅れた魚は、大人や子供たちをよろこばせたものである。

ある時、父が顔色を変えて帰ってきたと思うと通行止のビラを書いて飛んでいった。橋が落ちたのである。きじも鳴かずばうたれまいという昔の人柱の話もよく聞かされた。

水は飲料水、農業用水、工業用水と使用目的によって管轄が違うようである。正に縦割り行政の典型のようであるが、私は人間が飲む水が一番大切なので、これに1本化すべきだと思う。

淀川水系には幾つかの汚水処理場があるが超厳重な管理が必要であると思う。文化とはそんなにしおめんどうなものではなくて、淀川の水を底の石が見えるほどきれいにする事だと思う。

淀川を愛する気持ちは今も変わらない。

個人	023	兵庫県三田市 福田 秀夫
----	-----	--------------

歴史川街道編、東京には絶対ないやろ！黄金の大閘出世船で行く大阪港から伏見まで観光船旅

①問題点:今河川の問題といえば、通常治山治水、水辺の自然環境整備、川と人とのふれあいによる高度利用等が取り上げられます。淀川水系はそのほとんどが、関西の水ガメ琵琶湖を源とし、古来より流通交運に利用されてきました。以前は汚染が進み、下流域では特に著しかったですが、近年は大幅に改善されたようです。さて、淀川水系の一番の問題点ですが、私は今までになかったようなおもしろい、びっくりするようなプラン施策を淀川水系に取り入れ関西地域の人々に夢と希望を与えるような、そんなものが今必要と思います。

②理想と要望:歴史街道の川編、歴史川街道をつくる。まず、手始めとして上記テーマのような東京には絶対ないやろ！黄金の大閘出世船づくり、大阪港から京都伏見まで観光船として定期的に運行する。例えば、新幹線、航空機で大阪まで来ていただき、大阪港より船大阪ベイエリアからUSJ(ユニバーサルスタジオジャパン)に寄り淀川を伏見までの観光コース。モデルとして琵琶湖の遊覧船ミシガンをし和風にし黄金の金ぱくで船が輝やく図のような船尚淀川水系全体で歴史街道の川版、歴史川街道ハイキングコースをつくる、また異なった視点からの歴史散歩としておもしろい旅の発現があるかも。



③実現方法:現状では、大阪港から京都伏見まで淀川を大型遊覧船の運航は困難であり、それにかかる費用も大きいですが、20~30年後の淀川水系の活性化策、関西復権につながるおもしろいプランであると思います。東京には絶対ないやろ！黄金の大閘出世船で京大阪の名所めぐり、春は花、秋はもみじ、喜ぶ老若男女の観光客のうれしそうな姿が目に見えよう。尚、淀川水系歴史川街道ハイキングコースの設定は今すぐにでも出来ると思います。

個人	024	兵庫県西宮市 永野 勝己
----	-----	--------------

- ・問題点:淀川水系で、今、何が一番問題か？  
水上バイクが環境ホルモン様物質を垂れ流しているのは上水道源として問題あり。
- ・理想・要望:どのような川が望ましいか？  
琵琶湖から大阪湾まで、またその逆コースを乗り換えなしに観光船が運行できること。
- ・実現方法:そのためには、どのようにすべきか？  
川床の浚渫

個人	025	三重県津市 福山 利明
----	-----	-------------

三重県内には木津川が流れている。

流線が長く閉鎖水系に近い。

青蓮寺ダムが完成し、比奈知ダムの着工が間近だが、流量に大きな変化はない。

「雑木の伊賀」といわれたように、計画植林が少ないため、山の保水力は高い。

① 今後は計画的に雑木林を造成し、開発に見合う緑を復元することが必要だ。

② 休耕田は田圃に復元しやすい、しかも、林産物の収穫を兼ねた雑木林にするべきだ。保水力を維持し、豊かな川を担保する事ができる。

③ 伊賀地区には島ヶ原の「やぶっちゃんらんど」、大山田村川の「化石の出る川」、名張川の鮎釣りも素晴らしい。

しかし、もっと都市住民が安全で、気軽に楽しめる川として、木津川水系全体をリメイクする時期に来ている。

「青蓮寺土地改良事業の膨大な無駄」を、都市住民に利益還元しなければならない。上野市の「市民農園」はこころみやよしだが、水系の恵みは理解できない仕組みになっている。

④ 木津川水系は京大阪のヒンターランドである。京大阪の「里山」である。裏山であり奥座敷でもある。

有史以来の有様を今こそ思い興し、自然の楽園を築こうではないか。

⑤ ゴルフ場銀座とは情けなくも浅ましい！

⑥ 伊賀盆地は古琵琶湖である。日本の真ん中である。文化の中心である。

⑦ 世界に通じる「俳句」と「忍者」は、以上縷々述べた一つの証である。

以上

個人	026	奈良県奈良市 関川 詞之
----	-----	--------------

**問題点:**私は、カヌーに乗って川や湖を旅するのが趣味です。外国の川にも遠征します。淀川水系の中では、宇治川・木津川・淀川の流れ、琵琶湖がお気に入りです。

川旅のあいだに感じた不安を以下にあげます。

護岸は、洪水や流水の洗掘による堤防の破壊を防ぐために必要です。が、護岸に求められる機能は、まだまだたくさんあります。

釣人の足場である。

川に入ってゆく時の通路である。(人間、カエル、亀、狸、へび…)

川から岸に上がる手懸かり、足懸かりである。(人間、カエル、亀、狸…川に落ちた人)

散歩する人・川を守る人の展望台である。

船(カヌーなどの小船も含む)の離岸・接岸場所である。

水の中に棲む昆虫やカニ、魚たちの棲家である。

柳や葦、芹などの生育の場である。

カワセミなど、鳥の営巣地である。

**要 望:**今までに作られ、今まさに作られつつある護岸は、いくつかの機能を持っていますか？特に、上記の③は、ほとんど配慮されていないように見受けられます。

「川に落ちたら、死ね！」と言わんばかりです。

特に、早急に検討をすべき箇所は、以下のとおりです。

宇治川:宇治橋上流右岸、発電所放水路までの区間。以前にあった川原を削り取って、直線の護岸が設けられた。川へ降りる階段が設けてあるが、急流が護岸に沿って流れてくると、水深が深いので、極めて危険である。家族連れを観察していると、水に手をふれに行こうとする子供は、100%、親にやめさせられている。

木津川:京田辺市付近の右岸、近鉄鉄橋を中心に約 600mほどの区間。本流が右岸にあたっているため、以前から PC 製護岸があった。数年前、その護岸の足元と流れの中に、大量のテトラポットが投入された。川に遊びにくる人も、釣人も、カヌーでやってくる人も、川と岸とを分断するテトラポットの垣根に困り果てている。

木津川・御幸橋下流右岸、淀川・桂川合流点の下流右岸、宇治川・山科川合流点下流右岸。→シートパイルの護岸が長々と続いている。「川に落ちたら、死ね！」の代表。

### 実現方法:

流域委員会が、当該河川に利害を持つ人々の代表者を集めて討議し、最適な形を河川管理者に提言する。

危険な物は早急に手当とする。

流域委員・河川管理者・河川技術者(特に設計者)は、担当する河川をカヌーなどに乗って水面から観察する機会を時々持つこと(私と仲間のご案内します)。

以上

個人	027	大阪府大阪市 山本 善稔
----	-----	--------------

## —河川—遊泳場の開設

### 1 現状と問題点

この1～2年、琵琶湖では水泳場が増え、徐々に昔の姿をとり返しつつあるもののいずれも北湖に位置する。昔は南湖にもあり、河川では木津川の“笠置の水泳場”などが人気があったという。最近、木津川では上流の大河原のキャンプ場付近や下流でも流れ橋(上津屋橋)付近で子供たちが遊泳しているが、水泳場として認めた場所ではない。戦前までは宇治川・桂川はもとより淀川でも泳げたと聞く。いま、河川が人々から遠のいたのは、河川に潤いを感じさせない、川は汚いもの、危険なものになったからである。

### 2 要望(提案)

淀川水系は全国で最も早く汚染が始まったが、関係者の努力によって次第に回復し、一時期からみればかなりよくなっている。そして、今後も沿線の下水道整備や河川浄化の施策が継続的に計画されていることから、近い将来、昔に近い水質を取り戻すのではなかろうか。

親水とは、ジョギングや魚釣だけの水辺ではなく、五感で水と戯れ、肉体的にも精神的にも水と親しむことであろう。

水辺の景観整備も進みつつあるが、その整備計画の中に、水に肌で触れ、水を楽しむ場としての水遊び場・遊泳場をぜひ加えていただきたい。そのことが川は汚いもの危険なものからの脱却であり、真の親水の復活である。

### 3 実現方法

既存のタマリや低水敷の開口部をつないで成功した人工の「平成ワンド」の造成がいいヒントになろう。この場合、自然の生態系を損なわずワンドとしての機能をもたすことや野草を活かした緑と水の空間づくりに配慮する必要がある。具体的には小石や砂を主体とした遊泳場と自然の低木や草地による演出となる。

次に遊泳場としての安全性をどのように確保するかであるが、これは各所の海水浴場の運営や遊泳監視の方法を参考にすれば克服されよう。

そして、関係者の英知と熱意によって、とりあえず、琵琶湖南湖と淀川水系の河川ごとに1つずつ遊泳場(当初は水質の関係者から水遊び場でもよい)を開設し、その後、多くの箇所に設ける計画を立ててほしい。そのことは側面的に河川浄化の促進を早める一助にもなると考える。

### まとめ

汚い、危険とされ人々を遠ざけてきた淀川からも子供たちが水を親しむ歓声が聞かれ、水系の多くの水辺の人々の身近なものとして賑わい、憩いと安らぎの湖岸や河川を取り戻すことを心から願っている。

個人	028	滋賀県大津市 藤田 隆男
----	-----	--------------

私は昭和39年天ヶ瀬ダム竣工により、瀬田川下流の現曾東大橋の近くに住んで居ましたが、土地、家屋が水没のため、約5キロ上流の大石中町に移転しました。

私の家は先祖から(曾東の渡し)と言われる船頭、船守りを代々続けていました。漕り船で急流を渡る記録等もあり、澄んだ水、中には、めだか、ごり、かまつか、鯉、ぎぎ等たくさんおりましたが、近年はほとんど見かけられません。

一昨年ですか、大津市で開かれた淀川水系を考える集い、柳生博氏の講演も聞き、淀川水系には、北は余呉町、南は三重県、西は日吉町まで、多くの水系水源が係っている事を再認識致しました。

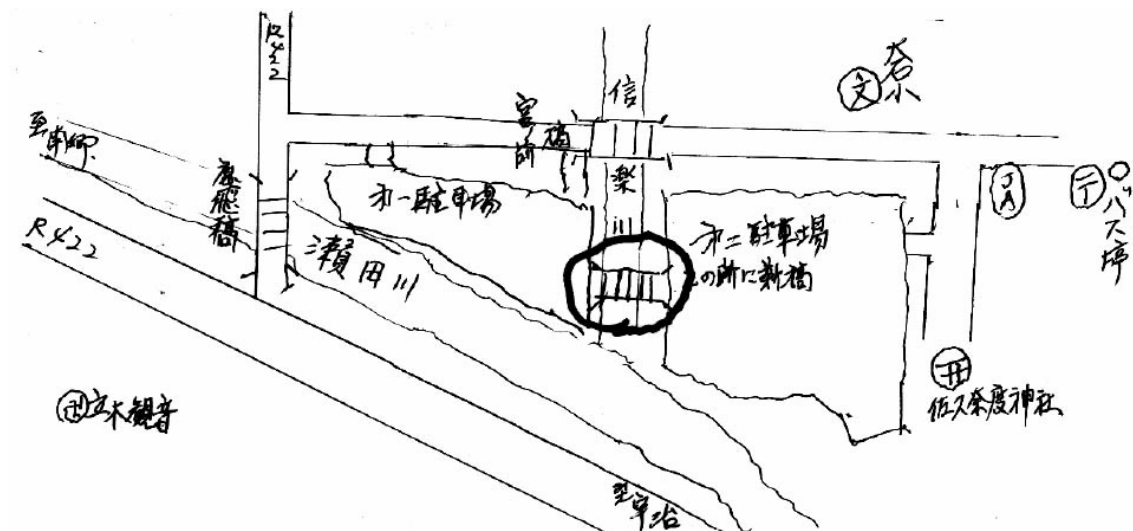
さて、ダム湖周辺に住む一人としてお願いが二点あります。

南郷洗堰に浮遊物処理網を付け下流の地域へ流さないことと、ダム湖岸の雑草刈取り、悪臭防止の対策等景観上からもお願いします。

立木観音参拝者駐車場として当大石地区佐久奈度公園が利用されますが、毎年大変混雑し、周辺住民はもちろん、一般通行者にも迷惑が及んでいます。

解決策として一つ提案したいのですが、下記の図の様に第一駐車場と第二駐車場を結ぶ橋を信楽川に架ける事によって事の流れがスムーズになり、交通事故防止、騒音防止、歩行者の安全も確保できるのではと思います。

地域関係者との充分なる協議をお願い申し上げます。



個人	029	大阪府池田市 西村 雅夫
----	-----	--------------

川は呼んでいる

私は川西市の北部、旧東谷村の出身です。子供の頃は山で遊ぶか、田圃で遊ぶか或いは川(猪名川～大路次川と  
いうのか能勢川というのか～現在の一庫ダムの少し手前)で遊ぶか何れかでした。特に夏場は朝から晩まで川で遊ん  
でいました。今思えばよくこれだけ遊べたなど今更ながら感心します。お陰で今の子供のようにスイミングスクールに通  
わなくても泳ぎは達者になったし、魚釣りはうまいし、また石ころだらけの川原も裸足でスイスイと歩けたのも自慢であり  
ました。

川には深い淵もあり、渦を巻いている所もあり、また急流や岩場ありで、危険な場所は一か所ありました。しかしながら私  
たちは長い間、これだけ遊んだにも拘わらず水難事故があったという記憶は全くありません。川は私の成長の友であり、  
肉体と情操を育ててくれた偉大な母であったと畏敬の念を抱いているのです。

今、たまに実家に帰って、昔遊んだ川に行こうと思っても簡単に行けないのです。昔あった道路がなくなっていたり、  
付近が荒れ果てて行くに行けないのが実情なのです。人間が川を遠ざけているのか、川が人間を遠ざけているの  
かはわかりません。しかし、川が人間を遠ざけることはない筈です。恐らく川に魅力が無くなったのだと思います。

水が汚い、水量が少ない、魚の種類が少ない・・・子供が歓声をあげて喜ぶだけの魅力が無くなっているのです。人  
間が遠ざかれば自然は荒れる。荒れるから遠ざかる。この悪循環が川と人間を疎遠にしているのです。

猪名川は一庫ダムがあるので、特に夏場はダムの貯水量確保のため放水量調節が行われる。従って水質汚染と水  
量回復の問題は非常に難しい。母なる川はどこへ行ってしまったのか。ダムが川の魅力を奪ってしまったのか。残念な  
がら私たちの子供の頃のような川はもう帰って来ないだろう。

ダムにもメリットがる。放水量調節により洪水を防げることである。昔の猪名川は結構洪水が発生した。この洪水が無  
いことを川の魅力回復に活用することを提言する。川の一定流域をせき止め、川底を小石や砂で整備し、昔棲息して  
いた色んな魚を放流したり、岸辺に砂地地帯を増やし奇麗に整備する。この一定流域の水質についてはせめて泳げ  
る程度に管理をする。いわば一定流域を整備し自然公園化して、特に夏は泳いだり釣りをしたりして家族連れで一日  
を楽しく遊べるようにするのです。川を生き生きと賑やかな場所にしたいのです。今、正に川は呼んでいるのです。



個人	030	大阪府三島郡 原 秀志
----	-----	-------------

子供たちにとっての河(川)とは

1. はじめに

(1) イメージ

子鮒つりしかの川(ふるさと) → 治水・堤防(近づきにくい) → ふれあいの場  
里山・里川

2. 学校(子供たち)にとって

H14年度 新教育課程実施

「生きる力」総合的学習(環境)、体験の重視

3. 地域にとって

生涯学習(スポーツ)社会 高齢化 健康

4. 具体的に

(1) ふれあいの場

① 自然と 季節、親水(草花・野鳥・魚等)

② 人と イベント(ハイキング、魚つり、スケッチ等)

スポーツ(ボート、カヌー等)

③ 専有施設よりオープンスペース

貸出事務を地元

(2) 交流の場

対岸と 「渡し」の再現

上流と下流と 琵琶湖フローティングスクール事業 → 三川合流交流事業

(3) 情報提供、人材派遣、コーディネート

国土交通省、淀川事務所

個人	031	兵庫県西宮市 原田 剛志
----	-----	--------------

兵庫県の武庫川に附いて愚見

#### 問題点

宝塚市役所附近より下流は、流れの有る川では無く天井川です。特に甲武橋より下流は顕著です。特に甲武橋より下流は殆ど毎年河川工事が行われる。

私から見れば何の工事か不明、工事説明概要表示が有ったかな？不明

工事終了後、魚の住処とかで、木枠で石積場所が、水の無い川原の片隅に無惨な姿露呈しています。

#### 要望

水の流れの有る、虫も魚も住んで居る川にして下さい。(虫まではとは望みません)

武庫川、付近に住んで 30 年余り、30 年位前に戻して欲しい、以前も大雨もありましたが、本流法面より少し上位で、武庫川とか堤防が不安と思った事は無いです。

上流因りの土砂の流入除去の為の河川工事なら流域全体では無く、河川に優しく自然体系を破壊しない工事流域全体では水質汚濁、波及は大阪湾、武庫川尻沖迄に及び、虫も魚も住み難いと思います。

河川工事で溜まる事の出来ない武庫溝に成り大阪湾、武庫川尻沖迄に土砂滞積、浅く成って居るのでは。

#### 実行方法

川を触るから、微小、小、中、と底へ底へと下がり、微小、小、が沈殿した層を基準に水が流れ、その上層を中、大、の層で、我々が目にする、川は水の無い、流れの無い川だと思ふ次第です。

工事無しで自然体で 10 年以上放置、期間内で樹木等、流れの障害物は除去の手入れは行ふ。

上流因りの土砂の流入除去の為の工事なら流域全体では無く、河川に優しく自然体系を破壊しない場所に土砂、流入沈殿池を適所に設け、その沈殿池より、毎日だろうと、毎月だろうと、河川体系破壊無しで土砂、採取除去、可能では無いかと思います。

#### 蛇足

昔聞いた話

田んぼ 荒らしてしまうと 三年以上水保が悪く 田んぼ に成らへん。

雑草の根で 微小、小 破壊される。

之と同じでは

個人	033	藤井 淑子
----	-----	-------

1 番の問題点は、農地からの肥料流入では

今滋賀県では、草津に実験場がありますが、建設業者に仕事を与える意味でも、各自治体が1場所、琵琶湖に作るの  
は、如何でしょうか。

イギリスでは堤防を、可能なかぎり広くとり、河川敷に植生しているそうですが日本は流れが急で無理かもしれませんが、  
大学の先生たちに勉強してもらいこの頃は河川敷どこも、運動公園になりましたが、葦、柳、ねむの木、タブの木を植  
林して林を、造成するのはいかがでしょうか。野洲川に今年そのような林が出来ましたが、未来の子供たちから、好い  
評価されるのではとおもいます。琵琶湖に注ぐすべての川とは無理でしょうが。

でも、一番大事なのは、琵琶湖を巡る山々の、保全ではないでしょうか。保水能力のある木々を、多く植林して、大雨、  
夏の渇水に備えなくてはびわこを巡る堤防を兼ねた湖周道路いくら高くしても、ただの、水ためです。

何万年も有り続いた、有りがたい滋賀県の誇り高い湖を、これからも残さなければなりません。

今、大人の私たちがしなければならぬことです。

個人	034	大阪府大阪市 橋本 正弘
----	-----	--------------

淀川は1600万人の水源地である。水質の改善が急務  
川を自由にする。堤外は川のなすがままに基本。  
自然に帰す。そうすれば自然浄化が期待できる。  
植物、生物の生態系も豊かになる。  
このことを基本に防災対策、整備計画立案する。

淀川で舟運が話題となっているが、水源地であることを考慮するとエンジン付きの船は発癌物質が流出し問題となる。

河川公園も自然野草地が少ない河川公園から自然野草地拡大へ。河川でのゴルフ場も農薬使用禁止し、将来的には廃止へ。

現在、淀川水面は自由使用と放置されている。特に冬季。このため冬季でもウエットスーツ着用し楽しんでいる。このためカモ類の集団渡来場所が中津から神崎川河口と毛馬大関の上流になっている。中津あたりが集団渡来地として適切、右岸も左岸にも葦原があり人間とカモ類との健康な距離が保てる。

中津あたりの冬季の水面使用は規制が必要。

毛馬大堰も問題、生き物のために利水、防災を考慮し改善する。

川を自然に帰さないと川の恵みは得られない。

個人	037	兵庫県川西市 青山 武史
----	-----	--------------

「私の川への思い」

1. 淀川水系など、川で今、何が問題か

私は猪名川上流に住んでいます。知明湖が出来てからも、まだアユ釣りが出来たが、今ではなし。多くの川へ毎年アユ釣りに行って、景観、水質共に衰退の続くのを実感しています。端的には、これが一番の問題と思っている。

しかし、多くの“人間”のレベルで見れば、自分の欲望を満たすために、川を傷めつづけてきて、すでに川の文化を忘れ去っていると言える。この状況の中で、懐古趣味で川の復旧を計画しても、莫大な予算となり、承認されないだろう。そこで、提案。実利面で20-30年後の川の役割について研究を深めて、それを公表し、住民、国民の理解を深めることが第一で、それが十分に出来ていないのが、問題と思う。

渇水の心配は、ほとんど例年。地球温暖化による乾燥害は、食糧生産、森林(樹木)に現れはじめており、水不足時代は必ず来ると思う。これに対し、どうバランスよく川を利用できるのか、私は知らない。

2. どのような川が望ましいか？

上記の研究、公表を早めて、選択肢を示して欲しい。

3. そのためには、どのようにすべきか？

研究への予算づけ。

公表のための予算、及びメディアへの協力要請。

住民の理解を深めて、20-30年後の川の実行可能な整備計画を公表する。

美しい川へ近づく計画になることも祈る。

個人	038	大阪府寝屋川市 森 貞次
----	-----	--------------

明日の淀川に希望

私は、国道一号線沿いで、レジャーボート・ヨットを販売業とする会社員です。

伝法大橋、十三大橋、鳥飼大橋、淀川新橋、枚方大橋を渡る度に、コンクリート・アスファルトジャングルから抜け出て、一時の間「ホッ」と致します。上流になる橋ほど、自然が残っており、水辺に佇む時は時間の経過を余り意識しなくなる感じです。

下記は、今後の淀川を、府県を跨って多くの方達が憩う場所、又昔日の急がない水上交通の場所、野鳥の囀る場所としての提案を致します。

- 1) 今も少し「アシ」が生える湾口の箇所をもっと広げ、水中生物や野鳥の楽園を増設する。勿論狩猟は禁止です。
- 2) 上記楽園に影響を及ぼさない範囲の距離に適当な広さの広場を何箇所も作る。
- 3) 水辺は楽しいものです。カヌー、手漕ぎボート、小型ディンギーが上下架出来るスロープを作る。
- 4) 適当な所に沢山の台数が入る駐車場を作る。移動は、自転車等を利用してもらう。
- 5) 大阪湾より、水上交通艇、ヨット、ボートが上って来れる様、下流の橋を高くするとか、高さの有る船が通過出来る様に、可動橋に改造する。
- 6) 一キロ単位毎に、船着き場(浮棧橋等)を作り、上記2)の広場とドッキングさせる。
- 7) 引波、騒音等を立てない様に、速力を20ノット位に制限する。船着き場の近くは7ノット位に落とす。
- 8) 有料の公衆トイレの至る所の設置、ゴミ箱も設置。
- 9) もっと沢山の植樹(日影が目的)又、護岸にも良いかと思えます。沢山の桜等。
- 10) コンクリートの使用制限。

仕事がマリンレジャーに携わる関係上、上記の様な内容が頭に浮かび上がって来ますが、やはり、水辺に親しむとどうしても、自然に浸りたくなると思えます。太古の時代から、丸木舟から舟へと歴史は続いております。

大切な川を、コンクリートで固めてしまわず、自然を残し、憩いの場として、又明日への気力養成の場として、残して行きたく思えます。

個人	039	兵庫県明石市 小林 健児
----	-----	--------------

毎々お世話になります。

初めて意見を述べさせていただきます。私達の活動の性格から、この 10 年あまり、淀川河口から琵琶湖までの水辺(複数箇所)を見せていただく機会が多く、それらの経験から私見を述べさせていただきます。

淀川の川岸、河川敷が整備され、治水を含めた“川の安全性”が向上していることに異議を挟む余地はございません。またこの事に関係行政が大変な尽力をされている事も流域に暮らし川の恩恵を日々、直接間接的に受けている住民でもある私たちはよく承知していることです。ただ最近感じることですが、整備され美しくなった河川敷に来ている人が少ない様に思われます。一部の野球場、ゴルフ場は別として、広く且つ施設もかなり整っている素晴らしいスペースが、犬の散歩かせいぜい週に一度のバーベキュー場、あるいはホームレスの生活の場所としか使われていない様に見えるのは非常に残念に思われます。

河川敷を歩いてみて、よく目にするのが禁止看板など規制の部類の標識であります。むしろ、ルールが表示された上で利用推進をしているものは皆無であるといっても過言ではないでしょう。これでは先にあげた利用以外の利用者は遠ざかって仕方がないと思われます。禁止規制を表示される利用は地域に理解されなかった、あるいは他の利用者に対して危険であるなどそれに至る理由はあったのでしょうか。例えばモトクロスなどのオートバイは騒音、砂埃、怪我、事故などの問題、ラジコンは騒音や墜落の危険性などが指摘され、水上オートバイは騒音や水質への影響が懸念されていることであると推察いたします。また、禁止はされていない釣りでも、鉛のおもりの水質への影響や、ルアーフィッシングの環境ホルモン問題など多くのレジャーがそれぞれ問題を内在していることは周知の事実です。これらの若者向けレジャー利用を容認できなければ、河川敷は寂れていくばかりであると思われます。ただこれを現状の行政機構で受け入れるのは無理があると思いますので、民力活用が好ましい方法であると思われます。各業界には組合や協会などが存在するので、禁止ではなく行政からの利用推進方向での投げかけにはその多くが応えてくるでしょう。また内在する問題の解決には特に環境・社会問題には製造業界・メーカーは日々凌ぎを削って改善に努力している訳ですから、利用ルール(レギュレーション)の制定と自主管理、委託管理組織の活動の効果と相乗して解決に向かうことが私達、水上オートバイの自主管理活動でも、まだ部分的ではありますが改善の評価が在ることからも、立証でき得るのではないかと希望を持って確信致しております。

個人	040	京都府相楽郡 苑田 晴夫
----	-----	--------------

河川整備計画について

木津川を美しくする会に入会させて頂き、毎年木津川河川パトロールの実施、不法投棄物の撤去作業に、去年は2回、今年も1回(2tダンプ車満載4台)参加し、木津川河川の美化に参加しています。又、木津川上流工事事務所、砂防事業、室生ダム見学等々に行き、治水、利水は昭和初期の水害が無くなった事は、ダム建設の苦勞の結果と喜んでいきます。今後は川原の樹木の伐採に力を入れて頂き、広々として、運動施設で体力増産の出来る場を作って頂く様希望します。